

全日本発明くふう展 特別賞に

富樫さん(山形大付属中)と高橋さん(寒河江中部小)

発明協会（東京）は4日、全日本学生児童発明くふう展の入賞作品を発表した。最高賞の恩賜記念賞（1点）に次ぐ特別賞（13点）に、本県から富樫あかりさん（山形大付属中1年）と高橋瑤さん（寒河江市寒河江中部小3年）の作品が選ばれた。富樫さんは「農作物と生産者の心

を守る！サクランボ盗難防止装置」と題し、園地への侵入者を感知するレーザーを取り入れた被害防止装置を考案。人間とクマで異なる警報が鳴る仕組みとし、模型で表現した。高橋さんの作品「はかレール！」はシーソーから着想を得た重さの計測器。傾くレールの一方に置いた物

の重量を、もう一方へ重りを引くことで測ることができる。測定時にペルが鳴り遊び心も感じられる作品。同展は各都道府県の発明くふう展の入賞作など733点を審査した。本県の他の入賞者は次の通り。

▽奨励賞Ⅱ富塚理功（山形大付属中2年）▽入選Ⅱ後藤陽菜（酒田市松山小5年）森谷源星（東根市東根中部小6年）本間結心果（致道館中2年）平井月野・内谷凜音・竹田凜（長井工業高3年）

（上村耕平）